

## 1. 教員および授業の概要

① 教員名：山本健三 (YAMAMOTO Kenso)

② 担当科目

- ・ 博士前期課程：北東アジア専門講義 16 (北東アジア比較社会論)  
北東アジア研究指導 I～IV

③ 教員のプロフィール

2010年3月、北海道大学大学院文学研究科スラブ歴史地域文化学専攻博士後期課程修了。学位：博士(学術)。長安大学校(韓国)外国語学部観光日本語学科専任講師(2010年3月～2013年2月)、島根県立大学北東アジア地域研究センター嘱託助手(2014年4月～2017年3月)を経て、現職。

④ 所属学会

- ・ ロシア史研究会
- ・ ロシア・東欧学会
- ・ 日本社会文学会
- ・ 韓国スラヴ学会

⑤ 研究領域・関心を持っているテーマ

- ・ ロシア帝国におけるポーランド問題・ドイツ問題
- ・ ロシア・ナショナリズム
- ・ 政治経済イデオロギーとしてのユーラシア主義
- ・ アナーキズム (プルードン、バクーニン、トルストイ、クロポトキン、マフノ、大杉栄、申采浩)

⑥ 研究指導方針

研究テーマや方法については、基本的に学生本人の意思を尊重する。ただし、それらも他者からの評価に堪えうるものでなければ意味がないので、教員は積極的に意見や批判を述べるし、場合によっては再考を促すこともありうる。

⑦ 指導可能な研究テーマ

思想、歴史、ロシアに関わるテーマ全般。

## 2. 研究業績リスト

① 著書

- (1) 『帝国・〈陰謀〉・ナショナリズム — 「国民」統合過程のロシア社会とバルト・ドイツ人』法政大学出版局、2016年（単著、全262頁）〔第2回法政大学出版局学術図書刊行助成対象作〕。
- (2) Политическая философия Бакунина: концепт исследования. М.: Издатель Воробьев А.В., 2001（単著、全160頁）

## ② 主要論文

- (1) Политический национализм М.Н. Каткова // Русская политология. Вып. 1 (6). 2018. С. 46-52.
- (2) М. А. Бакунин в глобализирующемся мире // Соловьёвские исследования. Вып. 2 (54). 2017. С. 104-110.
- (3) 〈研究ノート〉「日本のアナルコ=サンディカリズム運動と「大連流刑囚コミュニオン」 — 亡命ロシア人ニコライ・ペトロフ=パヴロフの回想」『北東アジア研究』第28号、2017年、65～81頁。
- (4) 「広域共生をめざす政治的ナショナリズム — 1860年代後半のバルト・ドイツ人問題に関するカトコフの言論活動」『ロシア思想史研究』第5号、2014年、29～51頁。
- (5) 「М. А. Бакунинにおけるアジア問題 — G. マッツィーニ批判と「黄禍」」『スラヴ研究』第60号、2013年、123～152頁。

## 3. 学生に対するメッセージ

私はロシア政治思想史を研究しています。これまでに発表したどの著書・論文でも、思想と現実の摩擦という局面に着目するという方法を採用しています。思想自体は無力ですが、思想が現実の世界に投げ込まれ、時間をかけて浸透していくと、何らかの力になることがあります。この思想が現実作用する力に転化していく過程を研究しています。このような方法論は、研究指導においても基本的に変わりません。私は間違いも含めて、いろんなことを投げかけます。学生の皆様には、それを正面から受けとめ、投げ返していただきたいと思います。